

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校	03-3376-2244
〒151-0071 東京都渋谷区本町3-2-2	
村山 サトウ先生	
江戸川学園取手中学高等学校	0297-74-8771
〒302-0025 茨城県取手市西1-37-1	
竹澤 賢司先生	
十文字中学高等学校	03-3918-0511
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-10-33	
卯木 幸男先生	
東洋高等学校	03-3291-3824
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-16	
齋藤 元治先生	
洗足学園大学付属第一高等学校	03-3711-5751
〒152-0012 東京都目黒区洗足1-15-13	
佐藤 慶一先生	
桜丘女子中高等学校	03-3910-6161
〒114-8554 東京都北区滝野川1-51-12	
品田 健先生	
聖徳大学附属中高等学校	047-392-8111
〒270-2223 千葉県松戸市秋山600	
川並 芳純先生	
麹町学園女子中高等学校	03-3263-3014
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-8	
伊藤 暁先生	
春日部共栄中高等学校	048-737-7611
〒334-0037 埼玉県春日部市上大増新田213	
宇野 禎弘先生	
大成高等学校	0422-43-3196
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-7-5	
森 保先生	
東京学園高等学校	03-3711-6641
〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-12-25	
須藤 勉先生	
東京立正中学高等学校	03-3312-1111
〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	
藤井 教戒先生	
八雲学園中学高等学校	03-3717-1196
〒152-0023 東京都目黒区八雲 2-14-1	
横山 孝治先生	
関東第一高等学校	03-3653-1541
〒132-0031 東京都江戸川区松島2-10-11	
副田 康孝先生	

武蔵野中高等学校	03-3910-0151
〒114-0024 東京都北区西ヶ原4-56-20	
海老沢 照明先生	
神田女学園中高等学校	03-3291-2447
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-3-6	
梅津 久昭先生	
和洋国府台女子中学高等学校	047-371-1120
〒272-0834 千葉県市川市国分4-20-1	
太田 陽太郎先生	
東京文化中学高等学校	03-3381-0196
〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1	
上村 吉勝先生	

編集後記

私塾ネットも再編以来4年目を迎え、本年度は役員も一新されました。一旦は引退を決めた私ですが今年度の編集長を拝命し身の引き締まる思いで何とか頑張っていくつもりでございます。いままでの編集長の残してこられた足跡を汚さないようにやっていくつもりでございますが、果たしてどこまでやれますやら見当もつきません。ただ、今年度の編集委員の方々には理事長はじめ各部局長、それに私塾ネット関東の代表者および広報部長と頼もしい先生方で構成され原稿はその先生方が執筆して下さるとのことですのでこの広報を編集するにあたり何の心配もなく編集することが出来ると思います。ただコンピュータを使用して編集をするものですから今までの広報ほど立派な体裁を整えることはできないかもしれません。その点はどうぞ勘弁下さい。ともかく一生懸命努めますのでどうか協力のほど宜しくお願いいたします。

平成16年7月 編集長 平林 治

全日本私塾教育ネットワーク

本部事務局

〒173-0005 東京都板橋区仲宿29-6

ナカジユク内

TEL 03-3963-5572 / FAX 03-3963-2529

Mail Address: jimukyoku@shijuku.net

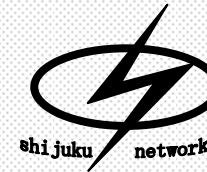
理事長 谷村 志厚

私塾ネット広報編集委員会

〒120-0032 東京都足立区千住柳町14-12

青雲塾内

TEL 03-3881-2240 / FAX 03-5284-3444



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>



竹塀を 越えて朝顔 空に見ゆ

私塾ネット副理事長 梶原 賢治

平成16年4月25日の代表者会議に於いて新年度役員決定

新任会長 山口 恭弘（広島県）



先日行われました（社）全国学習塾協会の総会で和田秀樹先生の講演がありました。先生は「学力低下の問題は、学習塾に通うことによって学ぶ力をつけ、解決すべきだ。」というような趣旨でお話しされました。このように塾が社会的に認められ、期待されるようになったことは大変喜ばしいことです。時代が塾の価値観を認め始めたということを感じます。

しかし一方で、塾はそのような期待に添えるものであることが必要です。子ども達が学ぶ力をつけ、変化に柔軟に対応できる素地を養うことができる場ではなければなりません。幸いなことに私が中学入試の現場で見てきた多くの子ども達は、この自分で学び物事を解決できる力を養っておりました。ことに確実に合格できるという子ども達ほど、そのような傾向が強かったように思います。私塾ネットはこのような塾がはじめて持っている力をさらに強固にし、みんなで分かち合うために作られました。一つ一つの塾の力は小さいかもしれませんが、その力を合わせればより大きなことができるのです。

ケネディ大統領が就任演説の中でこう言っています。「諸君の国が諸君のために何をしてくれるだろうかなど言わず、国のために何が出来るかを自問して欲しい。...人類の自由のため我々が手を握り合って何が出来るかを問うて欲しい。」私塾ネットも同じ事です。ネットが何かをするのではなく、皆さんが日本の教育の中で何が出来るかなのです。皆さんがそれぞれに培ってきた知恵があります。それを出し合って日本の教育のためにがんばりましょう。

新任理事長 谷村 志厚（千葉県）



会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。この会報がお手元に届くころは、夏期講習の準備に余念のない時期であろうかと思えます。本年度の塾環境はいかがでしょうか。新学習指導要領実施をきっかけとした学力低下論争も、来年度の教科書一部改訂では、発展的学習内容も採用されるにいたって、ある意味で結論が下されたようです。冷え切っていた補習小

学生の動きも、いくらか反動に転じた兆しが見受けられます。景気の緩やかな回復と相まって、わずかながらも光明の見えてきた状況かと推察します。

さて先般、私塾ネット四国の総会・研修会におじゃましました。四国の登録会員は20名前後のところ、当日の参加者は34名を数え、単純に言えば出席率170%を超える大盛況ぶりでした。四国エリア会員の結束の高さと熱心さを再確認したものです。

このように各所に活力ある塾人の集いが生まれ、地域の教育を牽引する教育集団が育つこと、これが私塾ネットの目標とするところです。新米理事長ですが、皆さんよろしくお祈りします。

再任事務局長 仲野 十和田（東京都）



平成15年11月10日、代表者会議（広島県宮島）にて山口恭弘前理事長が、次年度の理事長書職辞退を表明された。その後山口先生の強い推薦もあり、平成16年3月21日、センター役員会全会一致にて谷村志厚氏を次回代表者会議に推挙することを決定。4月25日の代表者会議において谷村新理事長、山口新会長体制が発足し、当日、全国研修大会2部懇親会にて、会員及び外部の方々へのお披露目が行われた。谷村丸出航！また、山口先生の功績には心より敬意を表したい。

新任私塾ネット関東代表 鈴木 正之（東京都）



この度、新理事長の谷村先生を引き継ぎ、私塾ネット関東の代表を務めさせていただきますことになりました。さて、私塾ネット関東ですが、新たに支部と教務部を設けました。ただし、支部長等の役職についたから何かをやらなければいけないとか、役職についていないから何もできないと言うことはありません。若い先生や職員の方々の活動の場としてのU-40を含め、多くの方々に自由な発想で新しいことを提案していただける組織でありたいと考えております。

私塾ネットはまだ4年目ですが、我々には旧3団体が今まで培ってきた財産があります。諸先輩方のお力を借り、若い先生達と共に勉強させていただきます。よろしくお祈り致します。

協力団体報告

NPO法人全国教育ボランティアの会

平成16年度主催行事日程は下記の通りです。

- | | | |
|-----------------------|-----------------------------------|-------------|
| 第1回 4月24日・25日 | 薬品の怖さと面白さ体験&自然観察学習 | 星くずの村 |
| 第2回 4月29日 | チビッコ空の歩歩会・春秋編 | 藤原学園 |
| 第3回 5月8日・9日 | 薬品の怖さと面白さ体験&自然観察学習 | 星くずの村 |
| 第4回 5月29日 | おもしろ理科実験「空気の科学」 | 厚木ゼミナール |
| 第5回 6月5日 | 生きいき理科実験 | 藤原学園 |
| 第6回 6月12日・13日 | 魚の解剖と化学実験 | 星くずの村 |
| 第7回 6月26日 | 岩石博士・状態変化の実験 | 湯口塾 |
| 第8回 7月4日 | 生きいきワクワク体験親子の集い
第1回 子育て支援フォーラム | 調布市文化会館 |
| 第9回 7月10日・11日 | 染物に挑戦。プリン・キャンデー作り・天体観測 | 星くずの村 |
| 第10回 7月17日 | 自然観察・理科実験 | 厚木ゼミナール |
| 第11回 7月23日～25日 | 自然観察・天文教室・理科工作 | 長野県車山高原 |
| 第12回 8月7日～9日 | 理科工作・自然体験合宿 | 青少年野外活動センター |
| 第13回 8月7日・8日 | アイスクリーム作りと光・音がテーマの実験 | 星くずの村 |
| 第14回 8月21日～23日 | 夏の自然観察と理科実験 | 星くずの村 |
| 第15回 8月25日 | アイスキャンデー・アイスクリーム作り | 湯口塾 |
| 第16回 9月11日・12日 | 生きいきワクワク体験親子の集い
第2回 子育て支援フォーラム | 下諏訪基点 |
| 第17回 9月11日・12日 | 乾湿計・プラネタリウム・電磁石・化石レプリカ作り | 星くずの村 |
| 第18回 9月18日・19日 | 理科実験キャンプ
高ソメキャンプ場 | |

- | | | |
|------------------------|-----------------------------------|----------|
| 第19回 10月24日 | 生きいきワクワク体験親子の集い
第3回 子育て支援フォーラム | 北海道（調整中） |
| 第20回 10月9日・10日 | 風船ジェットカー・ベッ甲あめテスター作り、他 | 星くずの村 |
| 第21回 10月16日・17日 | おいしい豆腐作りと理科実験 | 藤原学園 |
| 第22回 10月17日 | 生きいきワクワク体験親子の集い
第4回 子育て支援フォーラム | 徳島県池田 |
| 第23回 10月17日 | 化学実験「水溶液の実験」 | 公共施設 |
| 第24回 10月30日 | チビッコ空の歩歩会・秋冬編 | 藤原学園 |
| 第25回 10月30日 | おもしろ理科工作「木製パズル」 | 厚木ゼミナール |
| 第26回 11月07日 | 生きいきワクワク体験親子の集い
第5回 子育て支援フォーラム | 厚木ゼミナール |
| 第27回 11月13日・14日 | こんにやく作り・ペンダント作り・電磁石・圧力・電気分解 | 星くずの村 |
| 第28回 11月28日 | 電気の実験 | 公共施設 |
| 第29回 12月11日 | 英語スピーチコンテスト | 藤沢産業センター |
| 第30回 12月11日・12日 | ガム・笛・やじろペー作り&天体観測 | 星くずの村 |
| 第31回 1月8日・9日 | パラシュート・植物図鑑作りガラス細工・お餅つき・天体観測 | 星くずの村 |
| 第32回 2月12日・13日 | ニワトリの解剖・ルミノール反応ろうそく・ガラス玉作り | 星くずの村 |
- 注 第7回以降は文部科学省の後援予定。
注 第8回・第16回・第19回・第22回・第26回は子育て支援基金助成事業

今年もNPO法人全国教育ボランティアの会は上記のような32回の事業を予定しております。小豆島・厚木市・大阪市・香川県高瀬町・長野県茅野市・埼玉県秩父市・北海道と全国津々浦々を回り、子どもたちの素敵な笑顔を糧に頑張っています。
(文責 加藤 実)
理事長 田中 敏勝

ただし、前にご案内差し上げております銀行口座（UFJ銀行、長江勝秋名義）は、本年度中に使用を停止する予定ですので、なるべく今回ご案内の口座をご利用くださいますようお願い申し上げます。

なお、郵便振替口座は変更されず、そのままご利用いただけます。

<ご注意> 昨年まで一部の会員の方にご利用いただいていた「自動振替」による会費の徴収は、本年から行っておりません。

センター会計部の担当者変更のご案内

本年のセンター役員の改選人事によりまして、センター会計部長が長江勝秋より石川維雪に変更になりました。これに伴い、銀行口座も変更されております。（以下ご参照）

なお、旧の銀行口座（UFJ銀行、長江勝秋名義）も暫くは使用できますが、本年度中に使用を中止する予定ですので、なるべく以下の新しい口座をご利用ください。

<私塾ネット会計部 新・銀行口座>

みずほ銀行 祖師谷（そしがや）支店 普通預金（口座名義）私塾ネット 会計部長 石川如雪

過年度未納会費について

平成15年度までのセンター会費で未納になっている分につきまして、現在会計部の方で洗い出し作業を行っております。

作業終了後、未納となっている分につきまして、ご案内を差し上げる予定です。

なお、会計部の担当者変更に伴い、未納会費のご案内が大幅に遅れていますことを深くお詫び申し上げます。

渉外部 部長 佐藤 勇治

私塾ネット会員の皆様お元気ですか。平成16年度「私塾ネット」の船出を飾るビッグニュースは新理事長・谷村志厚船長の誕生です。

山口恭弘会長、谷村志厚理事長、仲野十和田事務局長のトロイカ船団は、全国に100近くあると言われる学習塾団体の中でも、最強の布陣の1つと言えるでしょう。

その執行部より、渉外部長続投を言い渡され、その上、次長に加藤 実先生を迎え、渉外部もまた、業界屈指の布陣になったと自負しております。

その渉外部からは、学習塾業界最大規模の全国統一名簿である『教育ネット要覧』【第4集】完成のニュースです。

16年度『私塾・私学・企業 教育ネット要覧』【第4集】B5判・334頁、3000部 発行

全国に学習塾が約5万あると言われております。

そのうち約12000塾が3年間で閉塾、または廃業し、新規に同じ数ほどの学習塾が出来、全体では変わらないが、多少漸増傾向にあることが総務部の調査資料から窺い知ることが出来ます。

これは、毎年7～8%の塾が入れ替わることを意味しており、正確な学習塾名簿を作成するためには毎年調べることが必要となります。

平成13年5月、全日本学習塾連絡会議（学習塾団体の横断的組織）により『教育ネット要覧』が発行され、平成16年度版は【第4集】となります。

【第4集】の学習塾名簿収録数は2378塾ですが、これは本部事業所のみで、全国の65学習塾団体から提供される名簿は、大手塾から中小塾まで含まれており、教室数では約3500教室、塾生数約300万人を包含する学習塾業界最大の全国統一名簿と言えます。

作成費用約450万円・非売品・私学・企業・私塾が支援。編集者は佐藤勇治氏。

教務部 部長 梶原 賢治

一層の品質の高い授業を子どもたちに

私塾ネットの教務部長の任を受けた。塾の命は、時の利・地の利・授業の品質である。地域の支持を獲得する形はいろいろあろう。時の利は、平等である。地の利は、塾にとって引越しや新教室の展開を伴うパワーの必要なテーマである。今日から変えられるものは、時間はかかるが授業の品質、教務力であろうか。

今存在する塾は、適者生存の証である。自らの長所を自ら点検し伸ばし、一層の品質の高い授業を子どもたちに提供できる力を私塾ネット参加塾全体が獲得する作業を教務部の仕事と出来れば幸いである。

再任私塾ネット中国代表 北川 健治(広島県)



私塾ネット中国の代表をつとめさせていただいております北川です。わが私塾ネット中国は「癒しと情報交換」をスローガンに年間6回の定例会を絶えることなく30年以上、地道に取り組んで参りました。草創の山口先生、城先生から経営と教務の両面にわたり全員が薫陶を受けています。また、塾の現場の授業・診断・対話について毎回、全員発言した上で意見交換をしています。ことに、新規・夏期・冬期の生徒募集に合わせ、チラシの品評会はもちろん、成功例、失敗例を披露しあっています。自塾が強くなるための研修、研鑽を通して、諸先輩が築いていただいた私塾の交流の輪を広げるべくお手伝いをさせていただきます。全国の皆様ろしく願いいたします。

再任私塾ネット中部代表 松本 紀行(長野県)



今年度から、山口先生が会長になられ、谷村先生が新理事長に就任されました。エネルギー溢れる新理事長が、どんな活動をされるのか、皆さん大いに期待しておりますし、同時に、新理事長を支援し、盛り上げなくてはなりません。中部地区は山あり海ありで、自然環境の豊かな土地柄であります。心豊かな子供を育てる資源に満ちており、誠実な私塾の仲間が多勢おります。社団、NPO、テスト会、そして湯けむりの会の方々とも良い関係を創りながら、会員の皆さんのお力を借りて、仲の良いおつきあいをしたいと考えております。先日の代表者会議の中で、北川先生がおっしゃられたことは、大変、的を得ていたように思いました。「私塾ネットは学習塾ではなく私塾の集い」今は亡き島本先生、浅沼先生もきっと喜んでおられることと思います。中部エリアにも若き女性会員が一人入会され、とても元気に活動されております。更に若手の会員が増えるよう微力ながら尽力したいと考えますので、今後共、皆様よろしく御指導下さい。

紙面の都合上、再任私塾ネット北海道代表 入江昌徳先生のご挨拶は13ページ「エリア通信」の所に掲載させていただきました。

再任私塾ネット四国代表 湯口 兼司(香川県)



私塾ネット四国は全国のエリアの中でももっとも親密度の高いエリアであると自負しています。たとえばこの三年間の活動において、各会員塾の参加率は常に90パーセントをこえていますし、総会、研修会の後は皆さんが和気藹々とした中でお互いの情報交換をしています。これは会員18塾の先生方がお互いの塾のこと、または人柄をよく知り仲間意識が強いからだと考えています。もう一つ、ほぼ全員が地元の組織で長年にわたり交友を深めています。愛媛は愛塾連、徳島は塾教育研究会、香川は進学研究会と普段は地元の仲間が集まり活動し、年に二回私塾ネット四国で集まって活動しています。ですから回を重ねるたびにお互いの信頼感が増してきているように私は感じています。それとみんな、心が広い！多少私が無理を言っても『湯口さんが頼んでいるのだから手伝ってあげようか』といまだにお願いしたことを断られたことはありません。本当にありがたいと思っています。また四国独自のメーリングリストがあり、川口先生を中心にメールでの情報交換も盛んです。いつか四国のメンバー全員そろってセンターの研修会に行くことを夢見ています。

新任私塾ネット東北代表 畑山 篤(青森県)



この度、私塾ネット東北の代表を務めさせていただくことになりました。副理事長の関先生の後任ということで大変重い責任を感じておりますが、一所懸命務めさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。さて、東北エリアは現会員数が5名という小規模所帯です。しかし、全員旧全塾連時代からの先輩であり仲間であり、また各種他団体で中心的に活動中のメンバーです。私はこの5名の力を頼りに「私塾ネットのメッセージ」を東北エリアの学習塾の皆様へ伝えていくコーディネータの役割が果たせればと考えております。全国の諸先輩方のご指導を仰ぎ、お力をお借りして、東北エリアの先生方と共に勉強させていただきます。



私塾ネット全国塾長・職員研修大会 「21世紀『人・創造』」

日時：平成16年4月25日(日)
会場：きゅりあん(品川区立総合区民会館)
出席者：私塾ネット東北1名・関東5名・中部
2名・中国5名・四国2名・外部2名・
他団体13名・私学15名・企業16名

ここ数年、ビジネスや教育のシーンで「コーチング」が取りざたされている。個人の潜在能力を引き出す「コーチング」とは、どのようなメソッドなのか。

全日本私塾教育ネットワーク(私塾ネット)は4月25日(日)に全国塾長・職員研修大会を開催。テーマは「21世紀『人・創造』」。教育現場におけるコーチングや最新の首都圏高校受験事情について、講演を行った。

研修大会は、第1部「研修会」と第2部「私塾・私学・教育企業懇親会」の2部構成で催された。私塾ネット四国代表・湯口兼司氏が開会の辞を述べた後、今年度に理事長から会長へ就任した山口恭弘会長が挨拶に立った。山口会長は、主要な業界を紹介している書籍に、塾業界も取り上げられるようになってきたと感慨深く語った。しかし、大手塾による寡占が進み中小塾が衰退するという一般の予測に対しては異議を唱え、研修会で経営に生かせるヒントを得ていただきたいと述べた。

第1部「研修会」では、2つの講演と分科会がプログラムされ、まず新教育研究協会の原栄久氏が「首都圏高校受験事情」を解説した。



第1部：研修会

「首都圏高校受験事情」

新教育研究協会 原 栄久氏

首都圏(東京・埼玉・千葉・神奈川)では公立高校の入試改革が急速に進み、複雑化してきています。この数年における主な変更点として、まず「学区制の撤廃」が挙げられます。東京は平成15年度、埼玉は平成16年度に撤廃されました。神奈川も来年度の撤廃を決定しています。

次に、第1回目入試が従来の中学による推薦から、自己推薦型へと移行してきていることです。生徒自身が自己PRを書いて高校に提出し、高校側はこれを選抜判定に加えます。

第2回目、すなわち学力検査を伴う入試では、一定の枠内ですが、学校独自の選考基準での選抜が許されています。

例えば神奈川県は各校で定員の20%を、独自の基準によって選抜できます。通常の選抜では内申を重視していますが、独自選抜は学力検査の得点と部活動の実績などの特記事項をからめて選考しているようです。

また学力検査においても自校作成問題を用いる傾向が広がってきています。平成13年度に日比谷高校が実施して以降増え続け、来年度は12校が実施する予定です。神奈川県においても来年度より、自校作成問題での入試が実施されます。

さらに学力検査と内申の得点配分の比率を変更できるようになりました。学校によって、内申と学力検査のどちらを重視するかを選択できるわけです。

従来の公立高校入試は、学区制のもとで共通問題により実施されていました。しかし、最近では各校の特色に応じた選抜方法へと変わりつつあり、私学に近づいています。

これら一連の入試改革に伴って、受験生の動きも変化しています。

相対評価から絶対評価への移行と自己推薦型の

各部報告

会計部 部長 石川 維雪

16年度センター会費ご協力をお願い

先にも郵便でご案内申し上げましたが、今年度より会費の納入方法が変更されています。

以下内容ご確認願いまして、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、センター会費は12,000円(年額)でございます。

エリア東北(青森県)、エリア関東、エリア中国、エリア四国

各エリアごとに、センターの会費を集めさせていただきます。なお、同時にエリアの会費を集める場合もございます。詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当者にお問い合わせください。

*エリア代表者

エリア東北 畑山篤(志学塾)

エリア関東 鈴木正之(いびき学院)

エリア中国 北川健治(栄光プレップ)

エリア四国 湯口兼司(湯口塾)

エリア北海道、エリア東北(青森以外)、エリア中部、エリア近畿、エリア九州

センター会計部より直接会費を集めさせていただきます。

4月はじめに16年会費についてのご案内を個別にお届けしておりますので、ご確認ください。なお、まだご送金いただけていない方は、以下のいずれかの口座へ12,000円ほどご送金くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細やご不明な点は、センター会計部 石川維雪(03-3415-3204)までお問い合わせください。

【郵便振替でご送金の場合】

以下の郵便口座までご送金ください。

(口座番号)0230-6-0068820

(口座名義)全日本私塾教育ネットワーク

【銀行振込でご送金の場合】

以下の銀行口座までご送金ください。

みずほ銀行 祖師谷(そしがや)支店

普通預金 8079372

(口座名義)私塾ネット 会計部長 石川如雪

*センター会計部担当者の変更に伴い、4月はじめに差し上げたご案内と銀行口座が異なっておりますが、前の口座でも今回の口座でもご利用いただけます。

【私塾ネット・中部】

定例会報告

月日：5月30日(日)、31日(月)

場所：西石川旅館(松本市浅間温泉)

参加者：原敏章(松進学院)、三松寿幸(スタンダードアカデミー)、鍋島直明

(トップ学習塾)、松本紀行(チャレンジ学院)

内容：平成16年度から新たに実施された自己推薦型入試選抜についての対応と湯けむりの会の懇談

【私塾ネット・中国】

行事予定

一泊研修(11月に予定)、定例会...11/4(日)、
1/13(木)、3/17(木)

【私塾ネット・北海道】

再任私塾ネット北海道代表 入江 昌徳



ネット発足以来、代表を拝命して現在に至るわけですが、全く何もせずに時間が経過してしまいました。もともと北海道は、全塾連北海道支部を引き継いだわけですが、かつては公立高校入試当日にテレビで「高校入試速報」の番組を送り出すことを活動の大きな柱としてきました。しかしながら、全体的な経営環境の悪化から番組の負担金を十分に確保することが難しくなり、涙をのんで撤退をしたのがネットのスタートの直前のことでした。その後、独自の活動の方向が見えないまま、漫然と過ごして現在に至ったわけです。私の不徳とするところ大なのですが、各地の皆様の熱心な活動の様子を耳にする中、動かねばと思っはいる次第です。ただこの秋、社団法人全国学習塾協会の「塾の日フェスティバル」が札幌で開催されることもあり、そこまではこちらに全面的にかからねばならず、もう少々ネットのほうは情眼のお許しを...

学習状況を報告している。一例として、次のテストで成績の下がりそうな塾生の家庭には、「現在の学習状況では成績が下がるかもしれませんが、家庭学習に力を入れてください。」と安全のための布石は忘れない。そして下がったら次のテストに向けて家庭と協力しながら伸ばしていく。これらが、保護者の信頼を得る結果となり、口コミ効果抜群であるらしい。

また、立ち上げ初期の頃の1つのエピソードとして、公園で遊ぶ子ども達に、「ちょっとついてきてみて」と声をかけ、そのまま塾で授業をした。すると、次の日には「この子も教えてやって」と仲間を連れてきた「えーい、今月はみんなただで教えてやるわあ。ただし、来月からはお金はらうてなあ。」と言った具合で、2ヶ月たらずで50名の塾生を獲得した。

2. 「速脳速読について」

(株)スピードリーディング・ジャパン 堀川直人氏
速脳速読を会員の皆さんが体験。一般人の平均読書スピードは500~700文字/分。速読の訓練をすれば5000文字/分も可能とか。「そりゃすごい」と一同が感嘆の声を上げる中で説明がすすむが、初期導入費のところになると足の踏む声がちらほら始め、導入後の費用のところまで来ると、ほとんどの塾長が現実引き戻される。やはり、コストパフォーマンスは塾によって異なる。

一番の問題は、早く読むことが出来ても、それに見合うだけの「語彙の充実」の補足をどうするかである。語彙力がなければ意味も分からず高速で中国語を読むことに等しい。しかし早く読めることによって読書の量が増え、読書習慣がつくという効果もあるそうです。

(懇親会)

ひたすら食って、飲んで、話す。だから、糖尿、痛風、食事制限、そんな言葉は窓の外の吉野川に流すことにする。アルコールで饒舌になった会員の皆さんは本音を話すので、充実した時間が過ぎていく。長年続けてこられた先生の話には、当たり前のように実行できていない一家言がある。また、ただいま売り出し中の先生の話には勢いがある。どちらも大切であるこ

とをかみしめる時間が2時間半。

締めとして、山口先生の、「本当に当たり前のことで恐縮ですが、子どもと親を大切にすると塾は残っていくものです。がんばりましょう。」とのお言葉が研修会のすべてであったように感じられる。やはり、塾とは人が人を教える場所なのである。

(文責：福富耕二・川口順次)

【私塾ネット・東北】

教務・経営の研修 教育進学情報 親睦交流を「三つの柱」として、私塾ネット東北のメッセージをしっかりと東北エリアの学習塾の皆様へ伝えることを今年度の目標と致します。先ず、来る7月8日(木)に『2004年第1回私塾ネット東北 塾長職員研修会』を八戸市ユートリー5F会議室にて開催致します。今回は北東北3県(青森・岩手・秋田)の会員塾及び会員塾からご紹介いただいた学習塾の方々にご案内を差し上げ、各県の高校入試制度改革の情報を中心に、塾長職員の研修を計画しております。学区制撤廃や全国からの受験者を受け入れる県立高校の入試制度改革の流れが、隣接各県の高校受験のニーズを掘り起こし、各塾各地域の情報交換を促す要因となっております。オブザーバーの方々の参加を歓迎し、研修会を行いたいと考えております。その席で今後の活動についての話し合いも計画しております。

【私塾ネット・関東】

定例会・定例研修報告

6月8日(火)八重洲倶楽部、参加18名
今年度活動方針、研修「春期講習の募集状況と夏期講習の募集戦略」

行事予定

U-40研修会〔7/4〕、宿泊研修〔9/12・13〕、私学情報交換会〔10/24〕

新年会〔1月〕、訪問研修〔未定〕

定例会〔9/12, 10/24, 11/9, 12/14, 1月, 2/8, 3/8〕

導入により、第1回目の推薦入試応募者が増加。公立高校を志望する生徒の多くが、第21回と第2回の2度の受験チャンスを利用するようになってきました。

また、第2回目入試の合格率が下がっています。これは公立高校を受験する生徒が増えていることを示しています。要因としては、絶対評価によって内申点がアップしたため、公立高校に挑戦する生徒が増えたこと。学校改革で誕生した新しいタイプの学校に人気が集まっていること。さらに経済的事情が考えられます。

ところで、絶対評価については中学校間格差が問題となっています。特に学力検査を実施しない第1回目入試での影響が大きく、中学によっては、受験した8割の生徒が合格するところや、2割しか合格しないところもあり、大きな差が出ています。

公立高校の入試改革は、複雑化すると同時に大きな問題点を抱えていると言えるでしょう。

一方、私立入試においては併願可能な推薦入試が広がっています。学校によって、内申基準を下げて応募者数を増やしたり、逆に基準を上げて一定レベルの生徒を確保するなど、戦略は様々です。

また依然として共学化傾向も続いており、今春は8校が共学化。来春も数校が共学化を予定しています。

公立・私立ともに入試制度や内容が次々と変更され、複雑な様相を呈している現状では、常に新しい情報を得ながら進路指導を進めていく必要があると思われます。

続いて、総合司会を務める田中宏道氏から次の講演テーマであるコーチングとその実践で名を知られる成基学園が紹介された。成基学園は1962年創立。京都市に本部を置く大手進学塾。「進学塾であり、人間塾である」をスローガンに全人教育を目指している。

教育におけるコーチングの有用性と意義に早くから着目し、実践を重ねてきた。今年3月には「子どもを伸ばす5つの法則 - やる気と能力を引き出すパパ・ママコーチング」(小山英樹

著・佐々木喜一監修PHP研究所刊)を出版した。

講演は、最初に成基コミュニティグループ代表・佐々木喜一氏よりコーチングの意義が語られた後、株式会社成基学園副理事長・小山英樹氏がコーチングの方法について解説した。

「子どもを伸ばす5つの法則」

株式会社成基学園副理事長 小山英樹氏



先日、ある経済誌に「業績の75%はEQで決まる」とありました。EQは「心の知能指数」です。いくら知識や技術を持っていても、心の基盤がなければ力を発揮することができません。

子どもも同様ですただ一方的に知識や受験テクニックを詰め込んで、心が受け付けなければザルのように漏れていってしまいます。親や教師が「しっかりしろ」と脅したりおだてあげ、子どもをコントロールしようとする、心に歪みをきたします。

ティーチングは、知っている者が知らない者へ与えます。一方、コーチングは相手が本来持っている能力や行動を引き出す。必要なものは相手に備わっていると信じてかかわっていきます。

コーチングで、子どもの心を歪みなく大きくしてやり、そこにティーチングを与えると子どもは自分の可能性を実現していくことができます。当学園では、昨年までの10年間、難関私立中学5校の合格者合計は330~350名で推移していました。

2002年6月、中学受験を目指す小学6年生の保護者に集まっていたいただき、「入試まで、コーチという立場でお子さんとかかわってみませんか」

と提案しました。その結果、昨年の合格者数は400名を突破。保護者がコーチになり始めた成果と考えられます。同じことは塾の先生方にも実現可能です。

コーチングはスキルです。しかし、根底にハートがなければなりません。本日の講演においても知性でなく感性、頭ではなくマインドで参加していただきたいと思います。

コーチって何者？

野球チームで4番バッターが3試合連続ノーヒットだったら、どのような言葉をかければよいでしょうか。「やめてしまえ」とどなるのは恫喝。「脇が甘いから締める」というのはティーチングです。

コーチは、ヒットを打てなかったことについて「今、何を感じているのか」「次の試合にどうなりたいのか」を問いかけます。選手が、ヒットを3本打ちたいと答えれば、「そのために必要なことは何か」と尋ねます。コーチの役割の1つ目は、ビジョンを明確化し、至るプロセスを具体化すること。そのビジョンやプロセスに対して選手が今どうであるかを客観的にフィードバックし、示してやる。これは相手の鏡になる、とも言い換えられます。

2つ目の役割は、相手の存在を承認し、安心感を与え自信を引き出してやることです。親の子どもに対する愛情は、ときとして子どもの現状を否定し、何とかしなければとコントロールする方向に向かいます。その結果、子どもは自分の存在自体に不安感を抱いてしまいます。そこからは前向きに生きるエネルギーは湧いてきません。

ここで、会場の皆さんに実験をお願いします。まず隣同士で一方は臨席の方に「最近あつたちょっと良い話」をしてください。聞き手の方は、腕組みしてそっぽを向き、ぶすっとしたままで聞いてください。次に、体を相手に向けてしっかりアイコンタクトし、うなずきながら聞いてください。

さて、違いが実感できたでしょうか。相手が全身で耳を傾けてくれる。また共感のサインを返してくれると、この人に受け入れられていると安心感を持てます。その上で、自分の思いや考えを

話すうちに、心の中がクリアになっていきます。言葉にすることで心が整理され、「気付き」が生まれるからです。安心感と話すこと、この2つがあって行動への意欲が生まれます。

コーチングとは、簡単に言うとコミュニケーションスキルです。次に具体的な方法をみていきます。



当日のコーチング練習風景。中部代表松本先生とお相手は？

5つの法則が「わかる」から「できる」へ

1. 詰問せず、質問する

問いただすのではなく、問いかけることが大切です。

「勉強したの」という質問には、イエスカノーでしか答えられません。子どもに圧迫感を与え、心を萎縮させてしまいます。安心して答えられる、イエスカノー以外を引き出す質問をしなければなりません。

しかし、「なぜ勉強しなかったの」と言われると責められているように感じます。「なぜ」を「何」に言い換えて、「しなかった原因は何」と聞くと、マイナスの感情を抱かずに会話が進みます。

2. チャンクをほどく

あれもしなきゃ、これもしなきゃと頭の中に様々なことが重なり合って絡み合い、整理されきれない塊をチャンクと呼んでいます。

がんばろうとしても明確な具体策がありませんから、どうすることもできません。しかも子どもは精神的な負担を感じ、逃げ場もなくしています。

このチャンクをほどいてやると、行動できるようになります。例えば、成績を上げるためには



四国研修

大会特集

平成16年6月13日(日)

於：徳島県 阿波池田簡易保険センター



(午前の部) 私塾ネット四国総会

1. 議事

私塾ネット四国代表、湯口先生の開会の挨拶から始まり、会長山口先生のご挨拶、会計報告と続き、センター事務局長の仲野先生、鈴木副理事長より活動報告

2. 四国支部会員から近況報告

「今年もまた厳しいなあ〜。」「小学生の募集が鍵になるでえ。」「中高一貫校は失敗ではないなあ。」「ゆとり教育につきあっている場合ではないでえ。」などなど、塾をとりまく環境も悪化しつつあるという発言が相次ぐ。特筆すべきは、徳島県の高校入試の状況。公立志向の強い土地柄の上、公立高校にほとんどの生徒が合格するという。まさに、塾の存在意義そのものが問われている状況。「それでも塾は必要だ」と言えることが鍵であるという意見も出る。



(午後の部)

私塾ネットセンターの新理事長になられた谷村先生よりこれからの会のあり方、決意そして四国の会員の励ましの言葉等があり、引き続き研修会に入る。

1. 講演「開塾11年で塾生1800名」

啓真館代表 原田真一氏

原田氏自身を自己分析

「10年で5000名を目指したことから考えれば、1800名は失敗である。」という自戒の言葉から講演が始まる。原田氏が得意とするのは、塾を運営していく上での、先を



見据えた企画および市場分析であるということ。さらに、当初の3年間の3時間睡眠は当たり前であって、自分の信念に照らして、やるべきはやった。何につけ、決して手間を惜しまなかった。そして、その信念とは「自分は、本当に子どもが好きか」「学校だけで出来ない教育は何か」という、「教科指導を通した教育」である。

また、その信念に基づいて、徹底的に行動する自信と市場分析があったからこそ、5000名は可能な数値であった。行動の一例として、「2000戸の戸別訪問」もある。

現在、自塾に必要なこと

人間力は重要であり、教育は人であるという信念の基に、講師の研修を充実しなければならぬ。人を信頼し、信頼されるために人件費は70%までになってもよい。50名の職員の内11名を役員にしてともに歩む姿勢を示している。また原田代表個人の自社株の保有は30%以下である。どんな道であろうとも、共に歩む覚悟のある人材を常に捜し、育成している。

現時点での塾の目標

1学区のシェア率と少子化の急速な進行から、香川県高松地区では塾生の人数は、2500名が限界と修正判断しており、そこに向かっての軌道を修正中である。また、他県への進出を考えている(場所は不明)とのこと。

塾生獲得の秘訣

塾生をやめさせない努力をしていて、そのために定期的に保護者に電話をかけて、子どもたちの

閉会の辞 私塾ネット東北代表 関志郎先生



最初に社団の全国学習塾協会の立場で一言。「個人情報保護法」で著作権について、入試問題や教材なども問題になり、四谷大塚、日能研が告訴されています。塾を取り巻く環境も厳しいものがあります。今日の感想ですが、私は去年成基学園さんを訪問したんですが、1階におにぎり屋さんがありました。担当は中山さんという方でしたが、今日の小山さんも素晴らしい方で、そのお2人を束ねている佐々木さんは、どんな人だろうと思います。これからもお互いに共有できる部分を手を取り合って頑張ってください。

その後会場を近くの「和民」に移して、下準備に奔走をした若手職員を慰労する2次会が実施された。会場は30名以上の参加者であふれ、大いに語り杯を重ねた。この日の早朝からの動きを通して、私塾ネットにパワーありの感を強くした。



研修会終了後の慰労会もおおいに盛り上がる



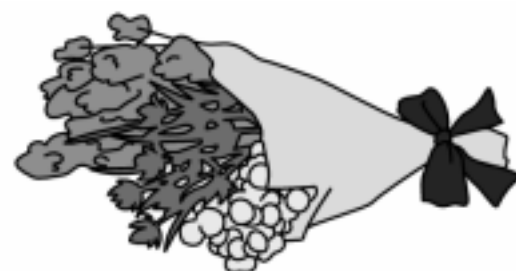
佐々木代表の熱弁に聞き入る分科会参加者



成基学園佐々木代表がコーチングの意義を語る



塾団体を代表してAJC森理事長のご挨拶



どの教科から、どうやって、いつからどのくらいというように具体化してやります。重要なことは、指示命令でなく子どもの中から答えを引き出すことです。私は黒板に絵を描いて、子どもと一緒に解決を考えています。

3. 怒らず、叱る

子どもが「忘れ物ばかりしている」と怒っているお母さんは、自分でイメージをつくり上げて、勝手に怒っていると言えます。事実は、今日は体操服、昨日は宿題、先週は辞書を忘れただけでもありません。「毎日毎日忘れ物ばかり」ではなく、3つの忘れ物をしたという事実が存在するだけです。事実の観察からは感情的な怒りではなく、「忘れたためにどうなったの」「どんな気持ちだったの」など、叱りという対話が生まれます。「怒り」の感情は、事実を観察することで「叱り」に変えることができます。

4. アクノレッジする

コーチングでは、アクノレッジは承認や誉めることを意味しています。ほとんどの子どもは褒められるとエネルギーが湧いてやる気が出ます。

承認や褒め方は次のようなパターンがあります。第1は、成果があっても褒めない。第2に「80点とったね」と評価のみを伝える。第3に「すごいね」「よく頑張ったね」と褒める。第4に「嬉しいな」「先生も元気づけられたよ」と自分の気持ちを伝えて、共に喜ぶ。

第1から第3までは主語が「あなた」で、上の者が下の者に評価を与えています。第4は主語が「私」です。この褒め方をすると先生が生徒アンケートでも高く評価されています。

褒め方は難しくありません。ただ子どもの頑張りによって自分の気持ちが明るくなったと、伝えるだけでよいのです。

5. 愛のブリッジを架ける

子どもが目標に向かって挑戦する姿は橋を渡ることに例えられます。渡り始めから渡りきるまで、コーチとして果たすべき役割があります。まず行動を起こす前に自信があるのか聞きだす。スタートした後は、途中で必要なら助言も与える。渡り終わったらアクノレッジし、次の目標を引き出します。

大事なことは、コーチとしてのかかわり方について前もって計画を立て、子どもと合意しておくことです。子どもによっては、がつんと叱ってもらいたいとか黙って見ててもらいたいとか、タイプは様々です。コーチはその子との合意を守ってやらなければなりません。

以上5つの法則を述べてきましたが、子どもは十人十色です。まず生徒の状況を観察して、コーチングの計画をじっくり立ててください。

コーチングは、限りない愛情を根っこに置いて子どもが本来持っている生きる力を育む、コミュニケーションの手段です。目標設定能力や自己管理能力、問題解決能力、コミュニケーション能力を養うことができます。知識だけではない、社会を切り開いてリードする力です。教育者であるかぎり、本物の人間力を育てるかかわり方が求められます。

子どもが自発的に行動し、目標を達成することに大きな意味があります。目の前の子どもに対して、ほんの少しでもよいからコーチングを実践してください。コーチングは聞くことから始まります。まず、子どもの声を一生懸命に聞いていただきたいと思います。

「以上提供：塾ジャーナル」

司会者 とかく一方的に話してしまいがちな教師職。「まずは聞く」ということをじっくりかみしめて、「子どもの能力を引き出す」ことを心がけていきたいと思います。ありがとうございました。

閉会の辞 私塾ネット中部代表 松本紀行先生



皆様本日は遅くまで勉強していただき、あり

がとうございました。素晴らしい感動を与えていただいたのは、私だけではないと思います。佐々木代表、小山さんありがとうございました。成基学園のこれからの発展を願っております。全日本私塾教育ネットワークが新しく生まれ変わりました。谷村新理事長のもと、更なる発展のため、皆様のご支援をお願い致します。

「分科会」

会場を5階の研修室に移し以下のテーマで分科会が開催された。

- A 個人情報保護法実務対策・名簿は使えるのか？
私塾ネット東北代表 関志郎先生
- B スタディポイントカードが塾業界を変える
(株)東京キョーイクソフト
- C 「子どもを伸ばす5つの法則」ディスカッション
成基学園佐々木代表、小山副理事長

第2部私塾・私学・教育企業懇親会
 総合司会 石川維雪先生
 乾杯 私塾ネット中国代表 北川健治先生



何はともあれ私が嬉しい。これを是非明日の授業で活かしたい。今日は嬉しい日です。長い歴史の中で塾のために最も尽くされたのは山口先生だと思います。山口先生ご苦労様でした。そして谷村先生宜しくお願いします。映えある私塾の将来ために乾杯。

～(しばらく歓談)～

来賓紹介と挨拶

- ・桂馬辰尚先生より参加私学の紹介と私学の先生方のご挨拶
- ・立脇亮先生より協賛企業の紹介と協賛企業の方のご挨拶



私学の先生方の紹介

- ・立脇亮先生より塾団体の紹介と塾団体の代表の方のご挨拶

- 森貞孝先生(全国学習塾協同組合)
- 岡田保雄先生(東京私塾協同組合)
- 古井敏昭先生(塾全協会長)
- 木谷朝子先生(大井町から教育を考える会)
- 松田邦道先生(学校教育支援調査会)・
- 松尾直人先生(神奈川民間教育協会)
- 柳田晋次先生(千葉学習塾協同組合理事長)
- 寺田悦子先生(私塾協議会副理事長)

- ・「教育ネット要覧について」

全日本学習塾連絡会議

教育ネット要覧編集者 佐藤勇治先生
成基学園の佐々木代表、小山さんありがとうございました。私学先生方、協賛企業の方々ありがとうございました。私塾ネット要覧は67団体35000塾の名簿の他、私学、協賛企業も掲載しております。3000部をご用意しておりますので、是非ご活用下さい。

～(しばらく歓談)～

私塾ネットエリア便り

私塾ネットの各エリアからの参加者紹介

- 東北 関志郎(代表)
- 関東 鈴木正之(代表)
渡辺浩(事務局長)
- 中国 北川健治(代表)・佐藤将紀・
田中達朗・河濱一也
- 四国 山田明子
- 全国 仲野十和田(事務局長)

(山口前理事長・谷村新理事長のセレモニー)
安藤進理先生 塾団体のために山口先生を中心に、北は北海道、南は九州・沖縄まで一体化することができました。今回は会長職になっていただいた。これからも、いつまでも塾団体のために宜しくお願いしたい。

梶原賢治先生 山口先生の退任を聞いて、今日のキーワードは「愛」だと思いました。今日のコーチングでのテーマは「愛」。私塾、日本の子供達への情熱を感じました。これからも、山口先生宜しくお願いします。

(四国エリアの山田明子先生より花束贈呈)
山口恭弘前理事長



皆さん本当に私みたいな者に、言い尽くせないような言葉をいただいて、ありがとうございます。私も今までやってこられたのは、皆さんのお陰だと思っております。皆さんに感謝の辞を述べたいと思っておりましたのに、逆になってしまった感じです。本当にありがとうございました。

落合清晃先生



今から20年前、全塾連の理事長になり、その後PTFと日私会と合同し私塾ネットが誕生し、

今日に至っています。山口先生は、本当に全国を飛びまわっていました。谷村先生は行動力、ユーモアある方なので安心しております。今後とも宜しくお願いします。

北川健治先生 思えばこの20年、広島から山口先生に全国行脚していただきました。広島から見れば山口先生がすべてです。そして今、谷村先生とここに新しく出発することになりました。谷村先生宜しくお願いします。関東の先生方、胸上げしたいと思います。宜しくお願いします。

(私塾ネット関東の先生方による谷村先生の胸上げ)



新理事長体重オーバーで埋没、減量を命じられる



突然の胸上げに、優勝監督の気持ちを味あわせていただきました。山口先生、長年の間リーダーシップを発揮いただきありがとうございました。さて、先程の胸上げにもみられように、私塾ネットにはまだまだ若い先生方が多くいます。私自身力不足ですが会員の皆さんと一緒に、塾の発展のために頑張ります。よろしくお祈りします。